



吉本 秀二 議員

水害対策計画の見直しが必要では……

問 避難情報の判断基準はあるのか。

答 地域支援課長 嵐山町に土砂災害警戒情報が発令され、かつ気象庁の「土砂災害警戒判定メッシュ情報」に応じ、避難準備、避難勧告、避難指示を発令する。なお、現場の状況等により臨機応変に発令している。

再問 台風21号では避難勧告から解除まで2時間半。発令時間は適切だったのか。

再答 地域支援課長 真夜中で迷いもあつたが、基本的には時間に関係ないと思ひ判断

避難情報発令・解除の基準必要では 今後データを蓄積し洪水ハザードマップに生かす

した。

再問 東松山市は、国・県の河川水位観測情報（水位グラフ）に基づいて、氾濫危険水位に達した時点で避難勧告を発令し、氾濫危険水位を下回れば解除している。嵐山町の河川には水位観測所はないが、避難情報の発令、解除の基準が必要では。

再答 地域支援課長 東松山市の河川は、水防法で水害ハザードマップ作成を必要とするが、嵐山町は必要とされていない。しかし気象状況の変動もあり、一つ一つ整えていく考えである。現在東松山市のような基準は持っていないが、降雨時の河川状況、国・県の河

川観測所データ、上流、下流の状況及びアメダス等のデータを蓄積させて、洪水ハザードマップに生かしていくことを考えている。

再問 嵐山町災害応急対策計画は、台風21



避難勧告発令の基準が重要（政府広報資料）

号時の川越市のような浸水被害については、レベル2の緊急体制として地域支援課長指揮体制になっているが。

再答 地域支援課長 基準は基準として臨機応変に対応する。対策本部を設置しての対応になる。

訂正 168号の一般質問の訂正とお詫び
千手堂地内山林における不法埋め立てに対する2番目の質問の答弁で、「本年2月」とありますが、正しくは、平成25年2月です。
訂正しお詫び申し上げます。



川口 浩史 議員

職員は台風で疲労困ぱいだ

問 衆議院の投開票日に町制施行50周年事業を実施し、夜には台風21号へ職員は疲労困ぱいのなか対応していた。大規模な災害がなかったからよかったが町制施行50周年事業の実施は正しかったか。

答 総務課長 50年を振り返り新たな一歩を確認した一日であり、開催は正しかったと考える。

再問 ヘアークラックと誰かへヘアークラックだと言ったのか。

再答 教育総務課長 施工関係者の判断である。

再問 ヘアークラックとはとても思えない。誰かへヘアークラックだと言ったのか。

再答 環境農政課長 過去の判例から死傷者が出るといった場合、代執行ができることされている。今回はそこま

衆議院議員総選挙日に50周年事業は正しかったのか 50年を振り返る1日となり開催は正しかった

問 菅谷小学校のプール建設に伴いフェンスを設置したが基礎のコンクリートにひび割れが生じている。これは今後問題が生じるのではないのか。

答 教育総務課長 許容ひび割れのヘアークラックであり構造上の問題はない。しかし業者と相談して低圧注入工法による補修を行った。

再問 ヘアークラックとはとても思えない。誰かへヘアークラックだと言ったのか。

再答 環境農政課長 過去の判例から死傷者が出るといった場合、代執行ができることされている。今回はそこま

再問 比丘尼山は土壌汚染がないか早急に検査すべきだ。

再答 環境農政課長 放射能と水素イオン濃度の検査では異常はなかった。

再問 埋立業者は現状回復命令に従わないことがはっきりした。町が行うしかないではないか。

再答 環境農政課長 過去の判例から死傷者が出るといった場合、代執行ができることされている。今回はそこま

での段階にはないので出来ない。



日にちを変えても良かったのでは

フェンスのコンクリートのひび割れは問題ではないか